

共催：知多厚生病院・美浜町地域包括ケアシステム推進協議会・
南知多町地域包括ケアシステム推進協議会・エーザイ（株）

知多厚生病院 第15回住民公開講座

知多厚生病院 映画祭

美浜町・南知多町で上映したところ、大変好評であった
認知症をテーマとした映画の上映会を開催いたします

ヒューマンドキュメンタリー映画 伊勢 真一 監督作品

上映

「妻の病 -レビー小体型認知症-」

一人の医師と、認知症の日々を生きる妻との10年間に及ぶ“いのち”を巡る物語。

ライフ イズ ライク ア ドリーム

「まるで夢のようだね・・・」

認知症の日々を生きる妻に、夫が語りかける。二人はうなずき合う。
この映画は、認知症のドキュメンタリーというよりも、病を経て絆を
深める、ある夫婦の愛の物語である。



● 同時講演：「当院の認知症サポートチーム」の取り組み

知多厚生病院 診療協同部長兼脳神経外科代表部長 福島 庸行 医師

開催
概要

日時：令和2年 2月1日（土）
10：00～12：00（開場9：45）

会場：JA愛知厚生連 知多厚生病院
病棟1階 会議室

参加無料・申し込み不要（先着100名）

※会場キャパシティの都合により、先着順となることをご了承ください

上映
映画
紹介

ヒューマンドキュメンタリー映画 伊勢 真一 監督作品

「妻の病 -レビー小体型認知症-」 (87分)

一人の医師と、認知症の日々を生きる妻との10年間に及ぶ“いのち”を巡る物語。



ライフ イズ ライク ア ドリーム

「まるで夢のようだね…」
認知症の日々を生きる妻に、夫が語りかける。
二人はうなずき合う。
この映画は、認知症のドキュメンタリーというよりも、
病を経て絆を深める、ある夫婦の愛の物語である。

伊勢監督の映画『妻の病 -レビー小体型認知症-』

一人の医師と、認知症の日々を生きる妻との、10年間に及ぶ“いのち”を巡る愛の物語です。

誰の上にも起きる可能性がある認知症という病。

愛する人が認知症になったとき、あるいは自分が認知症に

なったとき、一体何が大切なのか…。この映画を観たとき、

私たちはきっと、それぞれに思いを巡らせるでしょう。



【レビー小体型認知症】

アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症とともに、“三大認知症”といわれている。パーキンソン症状と幻視・幻聴体験、そして認知症独特の記憶障害がみられる疾患。「レビー小体」とよばれる異常物質が脳組織に沈着する。症状には波があり、鬱（うつ）症状もみられるため、同居する家族の精神的負担も大きい。